

非結球レタス* (野菜類、レタス類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使 用 回 数	使 用 条 件	べ と 病	灰 色 か び 病	菌 核 病	す そ 枯 病	白 絹 病	腐 敗 病	斑 点 細 菌 病	軟 腐 病	ビ ッ グ ベ イ ン 病
Zボルドー水	M1		-	-							◎			
ドイツボルドーA水	M1		-	-							◎	◎		
ベニドー水	M1		-	-							◎	◎	◎	
マスタピース水	NC		1	-							◎	◎	◎	
ジーファイン水	NC・M1		1	-							◎	◎	◎	
スターナ水	31		14	2							◎	◎	◎	
トップジンM水㊟	1		21	2			◎	◎						
エトフィンFL	22		1	3		◎								
アフエットFL	7		1	3			◎	◎	◎	◎				
カンタスDF	7		14	2			◎	◎						
ケンジャFL	7		1	3			◎	◎						
ネクスターFL	7		3	3			◎	◎	◎					
パレード20FL	7		*e	1	☆			◎	◎	◎				
			1	3				◎	◎	◎				
モンカットFL40	7		7	4					◎	◎				
アミスター20FL	11		7	4		◎	◎	◎						
ファンタジスタ顆水	11		14	3			◎	◎	◎					
メジャーFL	11		3	3		◎	◎	◎	◎					
ライメイFL	21		3	3		◎								
ランマンFL	21		3	3		◎								
フロンサイドSC	29		*c	1					◎				◎	◎
フロンサイド粉	29		*b	1					◎					◎
ポリオキシソリンAL溶	19		14	3				◎						
ネビジン粉	36		*c	1				◎						
レーバスFL	40		7	3		◎								
オリゼメート粒	P2		*a	1							◎	◎		
ピシロックFL	U17		1	3		◎								
バリダシン液5	U18		3	3					◎		◎		◎	
キノンドーFL	M1		30	5							◎	◎	◎	
ダコニール1000FL	M5		21	2		◎			◎					
フォリオゴールドFL	4・M5		21	2		リ								
カセット水	31・24		14	2							◎	◎	◎	
ジャストフィットFL	43・40		*f	1	☆	◎								
			1	2		◎								
シグナムWDG	7・11		14	2		◎	◎	◎	◎					
ベジセイバーFL	7・M5		21	2		◎	◎	◎	◎					
ゾーベックエンカン ティアSE	11・49		7	2		◎								
カスミンボルドー水	24・M1		7	4							◎	◎		
ナレート水	31・M1		30	2		◎			◎		◎	◎	◎	
ゾーベックエンテク タSE	49・21		3	2		◎								

非結球レタス…「農薬登録における適用作物名について」(P.58)を参照のこと。

㊟:チオファネートメチル含有剤 ◎:ペノミル含有剤 ㊟を使用した場合には同じ作での◎は使用しないこと。その逆も同様(種子への処理および塗布処理を除く)。

*a:定植時 *b:播種又は定植前 *c:定植前

*e:育苗期後半～定植当日 *f:定植前日～定植当日

リ:リーフレタスでの登録 除:リーフレタスを除く

☆:セル成型育苗トレイまたはペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。

非結球レタス*1 (野菜類、レタス類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使 用 回 数	使 用 条 件	ア ブ ラ ム シ 類	ヒ メ フ タ テ ン ヨ コ バ イ	ア ザ ミ ウ マ 類	ハ モ グ リ バ エ 類	ヨ ト ウ ム シ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	シ ロ イ チ モ ジ ヨ ト ウ	オ オ タ バ コ ガ 類	ウ ワ バ 類	ネ キ リ ム シ 類	コ オ ロ ギ 類	ナ メ ク ジ 類	ネ グ サ レ セ ン チ ユ ウ	ネ コ ブ セ ン チ ユ ウ
スピノエース顆水	5		*e	1	☆				◎										
バイデートL粒	1A	劇	*i	1	2					◎			◎						リ
オルトラン水	1B		30	3		◎		◎	◎				◎						
カルホス粉	1B		*a	2											◎				
カルホス微粒F	1B	劇	*a	2											◎				
ジェイエース溶	1B		30	3					◎	◎			◎						
ネキリエースK粒	1B		*a	2											◎				
アグロスリン水	3A	劇	7	2		◎													
アデオン乳	3A		1	2		◎			◎										
ガードベイトA粒	3A		*j	2													◎		
ネキリベイト粒	3A		*j	2													◎		
フォース粒	3A	劇	*e	1												◎	◎		
マブリック水20	3A	劇	21	2		◎													
アクタラ粒5	4A		*b	1					ナ										
アドマイヤーFL	4A	劇	*g	2		◎			ナ										
アルバリン顆溶	4A		*f	1	☆	◎			ナ		◎								
スタークル顆溶	4A		3	2		◎													
アルバリン粒	4A		*b	1					ナ										
スタークル粒	4A		*g	1		◎			ナ										
ダントツ溶	4A		*d	2		◎			ナ										
ダントツ粒	4A		*g	1		◎			ナ										
モスピラン顆溶	4A	劇	7	1		△			◎										
モスピラン粒	4A		*c	1		◎			ナ	◎			◎						
トランスフォームFL	4C		1	3		◎													
ディアナSC	5		1	2				◎	◎			◎	◎						
アニキ乳	6		1	3						◎		◎	◎						
アフーム乳	6		1	3					ナ			◎	◎						
アフームエクセラ顆水	6・15		3	3					ナ				◎						
コルト顆水	9B		7	3		◎													
パダンSG溶	14	劇	14	2		◎			◎									◎	
リーフガード顆水	14	劇	14	2		◎		◎	ナ									◎	
カウンター乳	15		14	3						◎			◎						
カスケード乳	15		3	3					◎	◎			◎						
ノーモルト乳	15		30	2						◎			◎						
ファルコンFL	18		3	2						◎			◎						
マトリックFL	18		21	3						◎			◎						
ロムダンFL	18		1	2						◎			◎						
ハチハチFL	21A	劇	14	1		◎			ナ										
トルネードエースDF	22A		7	2						◎	◎	◎	◎	◎					

非結球レタス

非結球レタス*1 (野菜類、レタス類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用回数	使用回数	使用回数	ア	ヒ	ア	ハ	ヨ	ハ	シ	オ	ウ	ネ	コ	ナ	ネ	ネ			
						ブ	メ	ザ	モ	ト	ス	ロ	オ	ワ	キ	オ	メ	グ	コ	セ	ン	チ
			(回数)	(回数)	(回数)	ラ	フ	ミ	グ	ウ	モ	イ	タ	バ	リ	ロ	メ	サ	レ	セン	チュ	ウ
ファイントリムDF	22A		7	2							◎	◎	◎	◎	◎							
アクセルFL	22B		1	2							◎		◎									
アクセルベイト粒	22B		1	2												◎						
モベントFL	23		14	3		◎		◎														
フェニックス顆水	28		1	2						◎	◎			◎								
プレバソンFL 5	28		1	3					◎	◎	◎			◎								
ベネピアOD	28		1	3		◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎								
ベリマークSC	28		*h	1	☆	◎	◎		◎		◎	◎	◎	◎								
			*m	1	☆												◎					
ヨーバルFL	28		1	3		◎			◎	◎	◎			◎								
			*h	1	☆	◎			◎	◎	◎			◎								
ウララDF	29		1	2		◎																
グレーシア乳	30		3	2				◎	ナ	◎	◎	◎	◎									
プロフレアSC	30		1	3						◎	◎	◎		◎								
プレオFL	UN		7	2					ナ		◎			◎								
ハクサップ水	1B・3A	劇	14	2		リ								リ								
キックオフ顆水	4A・28		*f	1	☆	◎			ナ		◎			◎								カ
ジュリボFL	4A・28		*h	1	☆	◎	◎		ナ	◎	◎			◎								カ
			*n	1	リ	◎	◎		◎					◎								◎
			*g	1	除	◎	◎		◎					◎								◎
ヨーバルターボフロアブル	23・28		14	3		◎		◎	◎	◎	◎			◎								
ナメトックスハウス	-		*k	6					◎	◎	◎											◎

*1: レタスと非結球レタスは使用できる農薬が異なる。
非結球レタス…「農薬登録における適用作物名について」(P. 58)を参照のこと。

- *a: 播種時又は定植時(植付時) *b: 播種前 *c: 定植前日～定植当日 *d: 定植時
- *e: 定植前 *f: 定植前日～定植時 *g: 育苗期後半 *h: 育苗期後半～定植当日
- *i: 定植前(但し収穫75日前まで) *j: 生育初期(但し収穫14日前まで)
- *k: 発生時 *m: 定植当日 *n: は種覆土後～育苗期後半
- カ: カブラヤガ た: リーフレタス及び立ちちしゃでナモグリバエに適用
タ: リーフレタス及び立ちちしゃでの登録 ナ: ナモグリバエ
リ: リーフレタスでの登録 除: リーフレタスを除く

☆: セル成型育苗トレイ又はペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。

★: 培土に混和する。

△: セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの上から散布する。

ヒメフタテンヨコバイとフタテンヒメヨコバイは別種。

非結球レタス

非結球レタス*1 (野菜類、レタス類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
灰色かび病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> ハウス、トンネル栽培では換気に留意し、多湿とならないようにする。 灌水を茎葉に直接かけると発生を助長する。 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル 2000倍 トップジンM水和剤⑤● 1500～2000倍 発病株は抜きとって土中に埋める。 	<p>比較的低温で多湿のときに発生しやすい。11月～4月に雨が続きと急激に発生する。</p> <p>一般にハウス、トンネル栽培で、また密植すると多発しやすい。</p> <p>●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。</p>
腐敗病・斑点細菌病	定植時	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤を土壌混和する。 オリゼメート粒剤△ 6～9kg/10a 	<p>腐敗病は外葉全体が腐敗し、乾燥するとノリ状または油紙のようになる。</p> <p>斑点細菌病は晩秋と早春に発生が多く、葉縁に淡黒色のV字型斑を生ずる。</p> <p>△オリゼメートは使用方法を誤ると、葉が黄化したり、生育遅延を起こすことがあるので注意する。</p>
	育苗期～生育期	<ol style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布し予防する。 カスミンボルドー(水) 1000倍 キノンドーフロアブル 800～1000倍 凍霜害やその他の傷をつけないようにする。 	
菌核病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> ハウスやトンネル栽培では換気に留意し、多湿にならないようにする。 マルチ栽培を行う。 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル 2000倍 トップジンM水和剤⑤ 1500～2000倍 被害株は見つけ次第抜きとり土中深くに埋没する。 収穫後の切り株はすみやかにとり除き、圃場衛生につとめる。 	<p>ビニールハウスやトンネルでは晩秋から初冬あるいは春先に発生が多い。</p> <p>土壌中に残った菌核が伝染源となる。菌核は薬剤や堆肥化するときの発酵熱にも強いので、圃場内に残さないようにする。</p>
すそ枯病	播種または定植前	<ol style="list-style-type: none"> 排水不良畑で発生が多いので畑の周囲に溝を掘るなどして排水を良好にする。 次の薬剤を全面土壌混和する。 フロンサイド粉剤 30kg/10a 	<p>本病はリゾクトニア菌による。</p>

*1: レタスと非結球レタスは使用できる農薬が異なる。

非結球レタス*1 (野菜類、レタス類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
(すそ枯病)	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アフェットフロアブル 2000倍 バリダシン液剤5 800倍	
軟腐病	播種または定植前	1. 春～初夏どりで多発するところは12～2月の冬どり栽培を行う。 2. 低湿地では畑の周囲に溝を掘るか、高畦にし排水を良好にする。	ほとんどの野菜類に発生する病害で、病原細菌は土壤中で越冬し傷口から侵入する。
	生育期	1. 根や地際部を加害するヨトウムシ、ナメクジなどを防除する。 2. 発生が認められたらただちに次の薬剤のいずれかを散布する。 キノンドーフロアブル 800～1000倍 バリダシン液剤5 800倍 Zポルドー(水)* 500倍	真冬を除いて発生するが、初夏～初秋までの気温の高い時期に発生しやすい。 結球期以後の中耕除草は根を切ったり葉を傷つけたりして発生を助長する。 *野菜類での登録
モザイク病	苗床期・苗床～定植後	1. 苗床は寒冷紗などで被覆栽培する。 2. 発病株は見つけ次第抜き捨てる。 3. アブラムシ類を防除する(アブラムシ類の項参照)。	レタスモザイクウイルスとキュウリモザイクウイルスによっておこる。 レタスモザイクウイルスはアブラムシのほか種子によって伝染する。
	定植後	・発病株は見つけ次第すみやかに抜き捨てる。	
アブラムシ類	育苗期	・苗床は寒冷紗で被覆する。	
	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオン乳剤 ☆2000～3000倍 ★2000倍 アドマイヤーフロアブル 4000倍 ウララDF 2000倍 モスピラン顆粒水溶剤 4000倍	☆リーフレタスのみの登録 ★リーフレタスを除く非結球レタスでの登録
ヨトウムシ	生育期	・幼虫の若齢期に次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオン乳剤☆ 2000～3000倍 オルトラン水和剤 1000～1500倍 フェニックス顆粒水和剤 2000～4000倍 プレバソンフロアブル5 2000倍	☆リーフレタスのみの登録

*1: レタスと非結球レタスは使用できる農薬が異なる。

非結球レタス*1（野菜類、レタス類の登録農薬も使用できる）

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ハスモンヨトウ	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 フェニックス顆粒水和剤 2000～4000倍 プレバソンフロアブル5 2000倍 マトリックフロアブル2000 倍	
オオタバコガ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 エスマルクDF* 1000倍 フェニックス顆粒水和剤 2000～4000倍 マトリックフロアブル 1000 ～ 2000 倍	*野菜類での登録
ネキリムシ類	播種時または定植時	・次の薬剤を土壌表面散布又は土壌混和処理する。 カルホス微粒剤F 6 kg/10 a	
	定植時	・次の薬剤を全面土壌混和する。 フォース粒剤 9 kg/10 a	
	定植後	・茎葉の被害がみられた場合は、株元の土を調べ幼虫を捕殺する。	
ナメクジ類	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 パダンSG水溶剤 1500倍 リーフガード顆粒水和剤 1500倍	
その他の病害虫		株枯病、タネバエ	

*1：レタスと非結球レタスは使用できる農薬が異なる。